

佳作 失敗から学ぶこと



李 函庭
LI HANTING
国 籍 中国
職 種 機械検査
実習実施者 瑞陵精機株式会社
監理団体 SCI協同組合

私はNC旋盤を使って製品を作っている会社で働いています。

ある日、私はミスをしてしまいました。

そのミスは、私が操作中に部品の加工深さを調整する際、誤った補正值を入力してしまいました。その結果、切削刃が部品表面に深く刻まれ、部品が破損してしまったのです。

私はその瞬間、何が起こったのか分らず、ただ混乱してしまいました。

その日、私はとっても落ち込み、自分が担当していた製品の品質を疑いました。

しかし、その後、上司から話を聞くことができ、彼らは私の失敗を非難することではなく、私が学んだことを重視しました。

後で冷静に考えると、私がミスをした原因について考えることができました。

さらに、私はこの失敗を通じて、適切な準備が必要であることを学びました。機械の操作においては、正確な計測や部品の取り扱い方法など、細かい部分にも気を配ることが必要があります。したがって、今後の作業の前

には十分な時間をかけて準備をすることが必要だと感じました。

また、私はこの失敗を通じて、上司とのコミュニケーションの大事さは分かりました。

日本語が下手の私にとって、いかに簡単で分かりやすい日本語で自分が話したいことを相手に伝い、正確かつ明確な言葉つかいを心がけることが重要です。

上司が話したことを自分なりに整理し、理解を深めるために、相手の意図したことを再確認ことをします。

上司からのフィードバックに対しても、自分なりに受け止め、改善点を見つけ出すように心がけています。

最後に、私はこの失敗を通じて、人間としての謙虚さと成長の重要性を学びました。ミスを恐れず、自分の失敗から学び、次に向かっていくことが大切だと感じました。

日本での生活、仕事をすることは人生の初めてです。文化のちがいが、交流上の難しいなど、いろいろなミスをしてしまいました。

しかし、仕事の失敗にしても、生活の失敗にしても、自分が頑張りたい限り、まわりの人も、私たち実習生の努力の姿を見れば、助けます。

毎日の仕事が疲れます。それにしても、限られる休みの時間で日本語の勉強をやりたいです。私はずっと「まずは自分を自分が助け、そのあとに神が助ってくれます」との諺を信じています。毎日の失敗からくりかえして、経験を学び、そして成長することがしたいです。

いままで、日本語の会話が上手くいかず、毎日コミュニケーションをとることは一番苦しくて、失敗の主な原因でした。こんごうの2年も、日本語をしっかりと勉強し、もっと自由に日本に生活をしたい！